

尾張南支部

知多県民センターと合同で知多半田駅前にて不法投棄防止啓発活動

5月31日（金）午後5時30分より名鉄知多半田駅東口広場において、尾張南支部（金田英和支部長）の不法投棄防止活動として、『不法投棄防止』と書かれたノベルティを配布する街頭キャンペーンを行いました。

参加者は支部会員19名、行政からは愛知県尾張県民事務所知多県民センター環境保全課廃棄物対策グループ主幹 村上浩幸氏、同主事 石井沙織氏、同主事 松下由梨氏、事務局からは環境アドバイザー 小野田敏也氏です。

当日会員は、背中に「STOP！！不法投棄」とプリントされた赤のベストを着用しました。他にも通行人から注意を引くように、「STOP！！不法投棄」と書かれた黄色のぼり、協会名が記載されたのぼりを立てて活動をアピールする準備をしました。

今年で5回目を迎える知多半田駅での啓発活動に対し、村上主幹からは「これまでの不法投棄防止キャンペーンにより、不法投棄が減ってきていますので尾張南支部の皆様にご感謝いたします。」とのお礼の言葉が述べられました。

ノベルティは数か所に別れて配布し、知多半田駅跨線橋下、駅前ロータリーを囲む歩道、大



挨拶をする知多県民センター 村上主幹



知多県民センターの方々と参加された皆さん

型スーパーマーケット前、半田市市民交流センターがある複合商業施設前、バス停留所などの各所に数名ずつ移動しました。

配布物は、「不法投棄防止キャンペーン（不法投棄ダメ!）」と書かれたティッシュペーパー（500個準備）と、県民センターから提供された「ストップ！ポイ捨て」と書かれた、青色の軍手とボールペンを道行く人に手渡ししました。

受け取ってくださった方は、ティッシュペーパーに書かれた文面を興味深く眺め、「何のキャンペーンですか。」と聞かれる方、「ありがとう、頑張ってるね。」と声をかけていく方など好意的な反応でした。

5年目を迎えた不法投棄防止啓発活動は、徐々に市民の方に根付き、ポイ捨て防止や不法投棄防止の行動につながっているのではないかと実感しました。ノベルティは1時間ほどで配布し終え、金田支部長、村上主幹より閉会の挨拶が述べられ解散となりました。



駅前ロータリー広場や駅跨線橋を上り下りする方々にノベルティを渡し不法投棄防止をアピールしました。